

気候変動に対応した品種や多収品種等、多様なニーズに対応した主要農作物の新規導入品種への転換に必要な種子生産・供給体制を構築するための取組や必要となる機械の導入を支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

・国の補助金「持続的生産強化対策事業（うち持続的種子生産に向けた生産・供給体制構築）」を活用し事業を実施

補助率：1／2

(4) 類似事業の有無

・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,965	農業機械等の導入 等
合計	1,965	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

「ぎふ農業・農村基本計画」

第6章1 (2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり

⑥食料安全保障の強化に資する生産・供給体制の構築

(2) 国・他県の状況

他県においても国の補助金を活用し同様の事業を実施

(3) 後年度の財政負担

県の財政負担無し（国の補助金を活用して実施）

(4) 事業主体及びその妥当性

国が定める事業実施要領において、事業実施主体は「都道府県」とされており、県を通じて支援を行う必要がある。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☒ 新規要求事業
☐ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

主要農作物の種子産地において、将来にわたる持続的な種子生産や多様なニーズに対応した生産・供給体制を構築するため、高温耐性品種や多収品種等の種子生産の取組みを支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
生産に必要な優良種子の確保		-	-	100%	100%	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
令和5年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和6年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 2	国の補助事業を活用して、多様なニーズに対応した生産・供給体制の構築を推進する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価) 1	国の事業実施要領に基づき、事業を実施する。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 国の補助事業を活用して、種子産地の多様なニーズに対応した生産・供給体制の構築を推進する必要がある。
--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本事業など国の支援制度を注視しながら、県内の主要農作物について、多様なニーズに対応した生産・供給体制が構築されるよう支援する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	【〇〇課】